

竹馬会情報紙

ホームページアドレス

<http://chikubakai.com>

はずみ

CHIKUBAKAI

竹馬会キャラクター
なべムシ君

郡山市にも近い大越町の佐久間辰一さんは、地元のボランティアグループ「牧野ひまわり会」の会長です。自ら育てたひまわりの茎を使ってつえを作るなど、二次利用にも取り組んでいます。



杖作りは初めてのことであり、半信半疑の方もいらっしゃると思います。9月2日発売の主婦の料理雑誌「オレンジページ」9月号に『福島ひまわり里親プロジェクト』の特集が掲載されました。その中に20年近くヒマワリづくりで町おこしをしている福島県大越町の「牧野ひまわり会」の佐久間辰一会長が紹介されています。牧野ひまわり会は、ひまわりの花を楽しんだあと、種で油を作ったり、花びらで染物をしたり、茎で杖を作ったりしています。今年3月に福島で佐久間会長にお会いし、竹馬会でも杖作りに挑戦してみようと、手紙を出したところ、丁寧な作り方のお手紙と手描きのイラストを送っていただきました。(※裏面をご覧ください)

「いろいろ工夫するところはあると思いますが、まずは作ってみたら・・・。」とあり、竹馬会の得意とする、みんなので知恵を出し、工夫すれば立派な杖が出来るものと確信しています。

ふっこう
福島を忘れない “福幸” の杖作り

**大雨の影響で
種と杖用の茎の収穫に打撃**

お盆明けの週末ごとの大雨の影響でひまわりの種の収穫時期を逸してしまいました。さらに、今年初めて挑戦しようと思った杖作りも大雨などの影響で予定の本数を確保できませんでした。

それでも種は各自で持ち帰って自主的に管理してもらっています。乾燥が出来て種が取れた方は相良(ちやま)まで届けてください。



するからです。そうすれば富士山登山には無理でも、散歩には使える軽くて丈夫な杖が出来ます。今年は研究段階として、来年は「福島を忘れない」「福幸(復興)の杖」として老人クラブの方に配れるくらいの杖を作りましょう！

福島県大越町「牧野ひまわり会」の佐久間会長の指導に基づき、試作品を作ってみました。

茎を切ったのは7月中旬、乾燥まで1カ月半程でしたが本当はもっと乾燥させた方がいいようです。乾燥後、紙やすりで磨き、ニスを塗りました。散歩で3日程使ってみました。指導では下の部分にビニールテープを巻くようになっていきますので、テープを巻いたのと、巻かなかったのと比べたのが上の写真です。テープを巻かなかったのはかなり潰れてしまっています。このあたりが竹馬会の知恵の出どころで、どう処理

積極的な自主活動、ご苦労さまでした！



早朝の草刈り

猛暑日が続く8月19日の夕方、河川敷の花壇に水やりをする男性2人の姿が。衣川昌利さんと木下茂さんでした。

9月6日早朝6時30分、河川敷の彼岸花部分の草刈りをする男性3人の姿が。衣川昌利さん、木下茂さん、松本靖司さんでした。



夕方の水やり

「さちっ子みらい」が
コスモス園のアート作りに挑戦！

今年のコスモス園では、営農グループなどによる手蒔きのアートづくりをすることになり、佐知の農事組合法人「さちっ子みらい」にも1枚の田んぼが割り当てられ、8月29日(木)大雨の続く合間を見計らって、竹馬会や佐知の一般協力者など17名で種蒔きをしました。巻き終わった翌日から再び大雨となりましたが、9月になり何とか発芽したようです。開花が楽しみです



今後の予定

■河川敷草刈り

9月15日(日) 午前7時～ 河川敷集合

■コスモス園 草刈り

9月22日(日) 午前6時～ 活性化センター5時40分集合

■コスモス園 開園祭

10月13日(日) 竹馬会の出店、行事参加はありません。

自主参加どうぞ！

ご無沙汰いたしております。「ひまわり甲子園」では大変お世話になりました。ひまわりの種ありがとうございます。今年もたくさんの善意の心を蔭かせていただきました。夏を迎えようやく、ひまわりも咲いてきました。

さて、昨日いただきました「ひまわり杖」の件ですが、こちらで取り組んでいる内容を紹介したいと思います。

- 1 ひまわりの茎は花が咲き、種が収穫できるようになりましたら、枯れてきて、緑から、茶褐色になってきます。幾分緑が残っているくらいが刈り取りの時期かと思います。種を取った後で良いと思います。
- 2 刈り取りは鎌等を使い、できるだけ根本から刈り取ります。太さも考えられたほうが良いと思います。手で握ったとき持ちやすい太さが良いと思います。細いどうしても折れやすくなります。
- 3 刈り取ったものは、種や葉を取り除き、陰干しを行います。(風通しの良い、日陰か反日陰のところが良いと思います。早くても11月、場合によっては春先まで乾燥させた方が良くかも知れません。
- 4 乾燥した茎を適当な長さ(ひまわり会では縁起をかつぎ、108cmにしています)に切ります。のこぎりか電気のこぎりを使っています。切り口がきれいに成るように切ります。
- 5 紙ヤスリなどで、表面のざらざらがなくなるように磨きます。
- 6 表面にニス塗を塗って光沢が出るようにします。2回塗るときれいに仕上がります。
- 7 茎の元のほうが、上になるように(手に持つ方)し、上から3~4cm程度の所にドリルで穴をあけ、適当な太さのひもを通し輪をつくりまします。
- 8 地面につく方には、ビニールテープ等を5~6回巻き、補強します。
- 9 できあがったところで、上下を両手で持ってある程度の力をかけ、強度を確かめまします。

以上簡単に説明しましたが、ご理解出来たでしょうか。いろいろ工夫するところはあると思いますが、まずは作ってみられたらと思います。

何かありましたらご連絡お願い致します。今後とも何かとお世話になります。

貴会のますますの発展を願っております。

ひまわり会会長 佐久間辰一



写真は「牧野ひまわり会」の杖作りの様子
(同会のホームページから)

